



資料 2

適正な契約履行のためのアンケート調査概要

1. 目的

工事の着工から精算に至るまでの過程において、見積条件と実際の施工条件が異なっていた場合における総合工事業者、専門工事業者双方の適正な対応方策及びそれぞれの対応の段階ごとに守るべき事項を明確にするため、対応の実態を把握し、問題点及び検討内容の整理を進めるための参考資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象

協議会構成団体傘下会員企業 480社（1団体あたり30社：16団体）

3. 調査内容

総合工事業者（5団体：150社）、専門工事業者（11団体：330社）に区分し、見積条件と実際の施工条件が異なる場合の対応の実態について、次の項目を調査した。

- [項目]
- 設計変更についての取決め
 - 相違する条件の具体的項目
 - 自社の対処方法
 - 契約相手方の対応とその満足度
 - 工事の進捗状況
 - 変更の精算方法と協議
 - 設計変更に関する諸規程の運用状況
- 等

4. 調査結果

次頁のとおり